

品目別レポート（ソース混合調味料）

■品目説明

ソースとは液体調味料の総称で、野菜・果実、砂糖、食塩、香辛料、食酢など原料の違いや、製法、色などによってさまざまな種類がある。代表的なソースとしては、ウスターソース類（中濃、濃厚、お好みソース、やきそばソース）、マヨネーズ、ドレッシング類、ホワイトソース、ドミグラスソース、焼肉のたれなど非常に幅広いタイプがある。

全国マヨネーズ・ドレッシング類協会の発表によると、令和元年（1月～12月の計）の生産量（会員11社の計）は、全体で409,905トンとなり、0.2%減少した。

■貿易概況

▼表1：日本のソース混合調味料輸出

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
米国	58,112,775	11,231	61,634,829	11,344	63,846,956	11,425	3.6	0.7
台湾	46,895,526	10,535	53,395,665	11,927	54,235,390	12,300	1.6	3.1
韓国	29,590,483	6,347	35,781,489	7,171	30,914,725	6,543	△ 13.6	△ 8.8
香港	22,415,289	4,626	24,185,910	4,883	25,289,980	5,080	4.6	4.0
オーストラリア	15,585,273	3,720	16,421,560	3,948	16,284,113	4,004	△ 0.8	1.4
全世界	263,996,759	55,156	294,562,598	60,097	308,655,846	63,191	4.8	5.1

注：対象はHSコード 2103.90.200、2103.90.300、2103.90.400、2103.90.500、2103.90.900

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年の輸出額は前年比4.8%増の3億865万ドル、輸出量は同5.1%増の6万3,191トンと、金額ベース、数量ベースともに増加した。

輸出額を相手国・地域別にみると、1位の米国が前年比3.6%増の6,384万ドル、続いて台湾が同1.6%増の5,423万ドル、韓国が同13.6%減の3,091万ドル、香港が同4.6%増の2,528万ドルとなった。

■海外事情

●米国

19年のソース混合調味料の輸入額は7億7,890万ドル（前年比5.4%増）、輸入量は45万1,103トン（同9.3%増）であった。

▼表2：米国のソース混合調味料輸入

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
カナダ	176,932,889	59,287	199,636,157	64,874	200,942,210	66,886	0.7	3.1
メキシコ	151,049,885	95,262	169,444,919	104,973	160,869,671	113,135	△ 5.1	7.8
イタリア	128,513,912	143,884	143,497,378	150,533	157,641,910	169,960	9.9	12.9
タイ	39,404,087	20,134	42,855,151	22,465	45,474,057	23,155	6.1	3.1
日本	33,774,233	6,547	37,843,470	7,098	42,687,749	7,471	12.8	5.3
全世界	661,338,706	381,491	739,007,422	412,619	778,902,560	451,103	5.4	9.3

注：対象はHSコード 2103.90.9020、2103.90.9040、2103.90.9051、2103.90.9059、2103.90.9091

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

主要輸入相手国は1位がカナダで輸入額は2億94万ドル（前年比0.7%増）、2位がメキシコで1億6,086万ドル（同5.1%減）、3位がイタリアで1億5,764万ドル（同9.9%増）、4位がタイで4,547万ドル（同6.1%増）、5位が日本で4,268万ドル（同12.8%増）であった。

近年はエスニックフード等の人気の高まりから、輸入食品の需要が高まっている。また、個人消費の増加に伴い外食ビジネスも好調で、レストラン業界におけるソースやドレッシングの需要がさらに高まる可能性がある。

日本からはマヨネーズ、焼き肉のたれ、とんかつソース、生姜焼きソース、ドレッシングなどが輸入され、日系のみならず中華系・韓国系などのアジア系スーパーにも流通が拡大している。

健康を意識したライフスタイルが注目されるなか、ヘルシーなイメージのある日本食のソースは、味の濃い高カロリーなソースとの差別化を図れる可能性がある。無添加のだしや液体調味料は、ハイエンドなレストランやオーガニックスーパーなどでの商機もある。

●台湾

19年のマヨネーズ、サラダドレッシングの輸入は、金額が前年比9.4%増の1,225万ドル、数量が同8.5%増の2,943トンとなった。

▼表3：台湾のマヨネーズ、サラダドレッシングの輸入 (Mayonnaise, Salad Dressing)

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	7,963,383	1,760	9,592,230	2,128	10,676,976	2,337	11.3	9.8
米国	428,534	134	687,770	192	550,977	160	△ 19.9	△ 16.7
フィリピン	150,053	82	223,444	105	264,639	133	18.4	26.7
中国	187,036	105	164,865	91	239,070	115	45.0	26.4
マレーシア	38,860	22	119,247	58	156,461	75	31.2	29.3
全世界	9,226,159	2,230	11,201,678	2,712	12,254,496	2,943	9.4	8.5

注：対象はHSコード 2103.90-1000

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

主要輸入相手国別では、日本が1位で、金額が1,067万ドルで、前年比11.3%と伸びた。数量では2,337トン、同9.8%増だった。過去7年間の主要輸入相手先をみると、金額、数量ともに日本と米国が1位、2位を継続して占めている。19年の輸入でも日本産のシェアは高く、金額で87%、数量で79%を占める。米国産が金額で4%、数量で5%のシェア、日本と米国産のマヨネーズ、サラダドレッシングだけで金額、数量ともに台湾のマヨネーズ、サラダドレッシングの輸入全体の約8~9割を占めることになる。台湾の一般家庭では生野菜のサラダをあまり食べないので、日本産のマヨネーズ、サラダドレッシングは日本食レストランを中心とした外食用に消費されているとみられる。

▼表4：台湾のカレーソースの輸入 (Curry Sauce)

(単位：ドル、トン、%)

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	13,501,352	2,968	14,521,223	3,348	13,879,861	3,190	△ 4.4	△ 4.7
タイ	782,651	319	601,264	316	971,386	405	61.6	28.2
マレーシア	102,634	25	152,330	33	100,533	23	△ 34.0	△ 30.3
ベトナム	33	-	-	-	68,048	12	-	-
英国	8,946	2	10,495	2	51,489	7	390.6	250.0
全世界	14,547,533	3,338	15,547,498	3,735	15,197,953	3,670	△ 2.2	△ 1.7

注：対象はHSコード 2103.90-2000

出所：Global Trade Atlas (IHS Markit) より作成

19年のカレーソースの輸入は、金額が1,519万ドル(前年比2.2%減)、数量で3,670トン(同1.7%減)であった。過去6年間の主要輸入相手先をみると、金額、数量ともに日本とタイが1位、2位を継続して占めている。19年の輸入でも日本産のシェアは高く、金額で91%、数量で86%を占める。

タイ産が金額で6%、数量で11%のシェアとなり、日本とタイ産のカレーソースだけで金額、数量ともに台湾のカレーソース輸入全体の95%以上を占めることになる。日本式のカレーは、台湾の食堂、屋台や一般家庭でも広く食されている。日本産のカレールーも一般のスーパーマーケットで販売されているほか、近年は日本の大手外食チェーンが台湾でカレーレストランのチェーン展開を進めており、日本産カレーソースの輸入増につながっている。

▼表5：台湾のその他混合調味料（料理酒は除く）の輸入（Other Articles Of Heading 2103）

（単位：ドル、トン、%）

	2017年		2018年		2019年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	25,067,094	5,274	29,968,426	6,118	30,597,558	6,074	2.1	△ 0.7
米国	10,994,793	4,067	11,724,136	4,032	12,872,682	4,452	9.8	10.4
中国	8,536,408	2,615	10,461,642	3,035	9,488,983	2,963	△ 9.3	△ 2.4
タイ	4,687,076	3,890	4,993,357	3,959	5,935,408	4,286	18.9	8.3
韓国	4,171,432	1,917	4,727,528	2,054	5,483,496	2,192	16.0	6.7
全世界	70,106,107	24,537	80,227,371	26,156	83,776,314	27,409	4.4	4.8

注：対象はHSコード 2103.90-9090

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

19年のその他混合調味料の輸入は、金額が8,377万ドル（前年比4.4%増）、数量で2万7,409トン（同4.8%増）であった。台湾では、しょうゆや料理酒を除く調味料についても多品種少量の輸入になることが多く、日本産のウスターソースやトンカツソースなどを含むその他混合調味料の過去6年間の主要輸入相手先では、金額、数量ともに日本と米国が1位、2位をほぼ継続して占めている。19年の輸入でも日本産のシェアは高く、金額で36%、数量で22%を占める。

本レポートに関する問い合わせ先：
日本貿易振興機構（ジェトロ）
農林水産・食品部 農林水産・食品課

〒107-6006
東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル
TEL：03-3582-5186

【免責条項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る自体が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。